

疾患制御医学専攻

専攻共通科目(疾患制御)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02EX002	医学研究概論	1	1.0	1・2	春AB	応談		疾患制御医学専攻長, 教務委員長, 新井 哲明, 橋本 幸一, 長谷川 雄一, 荒川 義弘	医学研究に必要な試薬の管理、実験廃液の分別、遺伝子組換え体の取り扱い、情報の管理、研究倫理、研究不正の防止などに関する基礎的知識を学修する。また、自らの研究に応用できる医学地区の共同利用施設や機器の利用方法を学習する。	必修 オンライン(オンデマンド型)。その他の実施形態
02EX003	医学セミナー	2	3.0	1・2	通年	応談		疾患制御医学専攻長, 教務委員長	専攻の担当教員または招聘する研究者による講演を受講し、質疑応答に参加する。そして、関連分野の原著論文を読み、その研究分野の背景、研究方法、および研究成果の特徴について理解する。加えて、今後の課題、医学研究における当該研究の意義について考察し、その内容について指導教員等と討論を行い、レポートを作成して理解を深める。これにより、医学の様々な分野について詳細に議論し応用力を磨く訓練を行うとともに、科学的文章に対する理解を深め、文章作成のための技術力向上に取り組む。	必修 オンライン(オンデマンド型)。その他の実施形態
02EX004	医学特殊研究	2	2.0	1・2	通年	応談		疾患制御医学専攻長, 研究指導教員	研究指導教員の個別指導によって、学位論文のテーマの設定に必要な基礎的知識の取得方法とその内容について学ぶ。また討論を通じて各自の研究テーマを設定し、その研究実施に必要な研究方法を選択し、必要な申請手続きを行い、博士論文作成の見直しを立てる。	必修 その他の実施形態
02EX005	医学特別演習	2	5.0	1・2	通年	応談		疾患制御医学専攻長, 研究指導教員	各指導教員から研究指導を受け、研究結果に対する解析の仕方を学び、その意義について理解するとともに、研究成果に基づいた次の研究計画を立案し、それを実行することを繰り返し、学位論文作成につなげる。	必修 その他の実施形態
02EX007	国際実践医学研究特論	1	3.0	1 - 4	通年	応談		千葉 滋	国際共同研究に参加し、情報の交換と理解、および研究実践による先端技術と論理的思考方法を涵養する。あるいは、海外での研修を通して、海外の研究者と議論し、国際的に通用する研究を体感するとともに、研究手技・語学力を身につける。また、海外教育研究実習に参加し、英語による研究討論および実習指導を実践する。以上により、国際的に通用する研究者となるために必要なことを理解する。	英語で授業。
02EX008	臨床研究方法論	2	3.0	1・2	通年	応談		疾患制御医学専攻長, 全教員	最新の臨床研究の水準を理解するために、英文原著論文・総説を読み、その内容を説明できるようにする。臨床現場で得た研究のシーズにその論文検討で得た成果を当てはめ、自らの研究テーマにどう役立っているかを明らかにできるようにする。	
02EX009	最先端医学研究セミナー	1	3.0	1・2	通年	応談		疾患制御医学専攻全教員	医学生物学研究に必要な知識・技術を解説するセミナーを受講して討論に参加するとともに、その内容について関係論文を読み、レポートを作成して理解を深める。これにより、他分野について詳細に議論し応用力を磨く訓練を行うとともに、科学的文章に対する理解を深め、文章作成のための技術力向上に取り組む。 なお、医学医療系ポスター発表会におけるポスター発表も対象とする。その場合、ポスター発表者に1つ以上、メール等で質問をし、その内容もレポートに記載する。	
02EX010	橋渡し研究マネジメント	1	2.0	1・2	秋ABC	月6,7	4F204	橋本 幸一, 村谷 匡史, 根来 宏光	「医薬品や医療機器などの開発においては倫理的、科学的に適切な方法による安全性・有効性の科学的実証研究(前臨床研究、臨床研究(治験))は欠かせない。こうした状況にあって倫理的・科学的観点のみならず技術経営的観点(技術動向の理解、事業化の方向性企画・立案・検証、リスクマネジメント、知識マネジメント等)に立脚し戦略的に医療・医薬・健康に関わる研究開発のマネジメントを担える人材を目指し、専門知識と関連する知識を習得する。	英語で授業。
02EX011	医科学教育実習	3	1.0	2・3	通年	応談		疾患制御医学専攻長, 研究指導教員	ティーチング・フェローとして、研究指導教員に協力し、担当する科目の目標、学習内容、評価基準の作成、授業と試験問題の作成・採点の補助を行う。研究指導教員が担当している学類または修士課程専攻の科目が、当該教育組織の人材養成の目的の中で、どのような役割を担っているかを理解し科目教育に必要な技能を修得し、教育の組織的展開の意義を理解する。 教育のあり方についての理解、教育改善の推進に貢献する知識、教員としての技、態度等を修得したかについて評価を受ける。	
02EX013	外国人学者とのコミュニケーション演習	2	2.0	1・2	秋ABC	火6		我妻 ゆき子	日本人学生および留学生が国際的な医学・医療問題の英文記事や論文を読み、英語で討論を行う。	英語で授業。 オンライン(同時双方向型)

02EX014	English Topics in Science I	2	1.0	1 - 4	春AB	応談		マティス ブライアン ジェームズ, 疾患制御医学専攻長	To reinforce English vocabulary and fluency in discussing scientific concepts in a diverse array of research fields while introducing cutting edge technologies. Students will develop critical thinking and questioning skills for use in conferences, presentations and daily scientific work.	TBA 英語で授業。
02EX015	English Topics in Science II	2	1.0	1 - 4	秋AB	応談		マティス ブライアン ジェームズ, 疾患制御医学専攻長	To reinforce English vocabulary and fluency in discussing scientific concepts in a diverse array of research fields while introducing cutting edge technologies. Students will develop critical thinking and questioning skills for use in conferences, presentations and daily scientific work.	TBA 英語で授業。

専門科目 (疾患制御)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02EX259	疾患制御医学特殊研究	2	2.0	1・2	通年	応談		疾患制御医学専攻長, 研究指導教員	専攻内各研究グループにおいて、実際におこなわれている研究に関して、背景、目的、方法、結果、結論、考察に関して議論し、今後の方向性を検討して、論文発表の準備をする。	必修
02EX260	臨床病態解明学特論I	1	2.0	1・2	春ABC	応談		中島 崇仁, 櫻井英幸, 佐藤 晋爾, 磯辺 智範, 新井 哲明, 太刀川 弘和, 田中 誠, 井上 貴昭, 本間 真人, 前野 哲博, 横谷 省治, 小林 裕幸, 我妻 ゆき子, 五所 正彦, 橋本 幸一, 荒川 義弘, 小柳 智義, 松阪 諭, 伊東 洋行, 宮本 憲優, 金子 新, 金田 朋洋, 久野 敦, 須丸 公雄, 館野 浩章, 新井 洋由	臨床病態解明に関する諸分野において、学生は自らの最新の研究内容を発表し、研究結果と今後の研究方針に関する討論を行うとともに、それぞれの分野の重要な課題に関する議論を行う。授業は研究グループ単位で行い、学生は自らが研究指導を受ける研究グループに加えて、複数のグループの授業に出席することを推奨する。特論Iでは主として各領域の基礎的側面に焦点を当てる。  ・放射線診断学 ・放射線腫瘍学 ・放射線健康リスク科学 ・精神医学 ・災害・地域精神医学 ・麻酔・蘇生学 ・救急・集中治療医学 ・臨床薬剤学 ・地域医療教育学 ・臨床試験・臨床疫学 ・生物統計学 ・橋渡し・臨床研究学 ・臨床研究地域イノベーション学 ・細胞分子工学 ・分子創薬学 ・医薬品・医療機器評価科学 ・臨床腫瘍学	
02EX261	臨床病態解明学特論II	1	2.0	1・2	秋ABC	応談		中島 崇仁, 櫻井英幸, 佐藤 晋爾, 磯辺 智範, 新井 哲明, 太刀川 弘和, 田中 誠, 井上 貴昭, 本間 真人, 前野 哲博, 横谷 省治, 小林 裕幸, 我妻 ゆき子, 五所 正彦, 橋本 幸一, 荒川 義弘, 小柳 智義, 松阪 諭, 伊東 洋行, 成松 久, 宮本 憲優, 新井 洋由	臨床病態解明に関する諸分野において、学生は自らの最新の研究内容を発表し、研究結果と今後の研究方針に関する討論を行うとともに、それぞれの分野の重要な課題に関する議論を行う。授業は研究グループ単位で行い、学生は自らが研究指導を受ける研究グループに加えて、複数のグループの授業に出席することを推奨する。特論IIでは主として各領域の基礎的側面に焦点を当てる。  ・放射線診断学 ・放射線腫瘍学 ・放射線健康リスク科学 ・精神医学 ・災害・地域精神医学 ・麻酔・蘇生学 ・救急・集中治療医学 ・臨床薬剤学 ・地域医療教育学 ・臨床試験・臨床疫学 ・生物統計学 ・橋渡し・臨床研究学 ・臨床研究地域イノベーション学 ・細胞分子工学 ・分子創薬学 ・医薬品・医療機器評価科学 ・臨床腫瘍学	

02EX262	臨床病態解明学演習I	2	2.0	1・2	春ABC	応談	<p>臨床病態解明に関連する最新の原著論文を抄読し、研究目的、方法、結果、当該研究の意義、問題点、残された課題について討論する。授業は研究グループ単位で行い、学生は自らが研究指導を受ける研究グループに加えて、複数のグループの授業に出席することを推奨する。各研究グループのキーワードは以下の通りである。演習Iでは主として各領域の基礎的側面に焦点を当てる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>放射線診断学</li> <li>放射線腫瘍学</li> <li>放射線健康リスク科学</li> <li>精神医学</li> <li>災害・地域精神医学</li> <li>麻酔・蘇生学</li> <li>救急・集中治療医学</li> <li>臨床薬理学</li> <li>地域医療教育学</li> <li>臨床試験・臨床疫学</li> <li>生物統計学</li> <li>橋渡し・臨床研究学</li> <li>臨床研究地域イノベーション学</li> <li>細胞分子工学</li> <li>分子創薬学</li> <li>医薬品・医療機器評価科学</li> <li>臨床腫瘍学</li> </ul>
02EX263	臨床病態解明学演習II	2	2.0	1・2	秋ABC	応談	<p>臨床病態解明に関連する最新の原著論文を抄読し、研究目的、方法、結果、当該研究の意義、問題点、残された課題について討論する。授業は研究グループ単位で行い、学生は自らが研究指導を受ける研究グループに加えて、複数のグループの授業に出席することを推奨する。各研究グループのキーワードは以下の通りである。演習IIでは主として各領域の基礎的側面に焦点を当てる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>放射線診断学</li> <li>放射線腫瘍学</li> <li>放射線健康リスク科学</li> <li>精神医学</li> <li>災害・地域精神医学</li> <li>麻酔・蘇生学</li> <li>救急・集中治療医学</li> <li>臨床薬理学</li> <li>地域医療教育学</li> <li>臨床試験・臨床疫学</li> <li>生物統計学</li> <li>橋渡し・臨床研究学</li> <li>臨床研究地域イノベーション学</li> <li>細胞分子工学</li> <li>分子創薬学</li> <li>医薬品・医療機器評価科学</li> <li>臨床腫瘍学</li> </ul>
02EX264	臨床病態解明学実験実習I	3	2.0	1・2	春ABC	応談	<p>臨床病態解明に関連する実験の方法と原理について実践的に学ぶ。各研究グループのキーワードは以下の通りである。I, IIでは異なる手法を習得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>放射線診断学</li> <li>放射線腫瘍学</li> <li>放射線健康リスク科学</li> <li>精神医学</li> <li>災害・地域精神医学</li> <li>麻酔・蘇生学</li> <li>救急・集中治療医学</li> <li>臨床薬理学</li> <li>地域医療教育学</li> <li>臨床試験・臨床疫学</li> <li>生物統計学</li> <li>橋渡し・臨床研究学</li> <li>臨床研究地域イノベーション学</li> <li>細胞分子工学</li> <li>分子創薬学</li> <li>医薬品・医療機器評価科学</li> <li>臨床腫瘍学</li> </ul>

02EX265	臨床病態解明学実験実習II	3	2.0	1・2	秋ABC	応談	<p>中島 崇仁, 櫻井 英幸, 磯辺 智範, 佐藤 晋爾, 新井 哲明, 太刀川 弘和, 田中 誠, 井上 貴昭, 本間 真人, 前野 哲博, 横谷 省治, 小林 裕幸, 我妻 ゆき子, 五所 正彦, 橋本 幸一, 荒川 義弘, 小柳 智義, 松阪 諭, 成松 久, 宮本 憲優, 伊東 洋行</p>	<p>臨床病態解明に関連する実験の方法と原理について実践的に学ぶ。各研究グループのキーワードは以下の通りである。I, IIでは異なる手法を習得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放射線診断学</li> <li>・放射線腫瘍学</li> <li>・放射線健康リスク科学</li> <li>・精神医学</li> <li>・災害・地域精神医学</li> <li>・麻酔・蘇生学</li> <li>・救急・集中治療医学</li> <li>・臨床薬剤学</li> <li>・地域医療教育学</li> <li>・臨床試験・臨床疫学</li> <li>・生物統計学</li> <li>・橋渡し・臨床研究学</li> <li>・臨床研究地域イノベーション学</li> <li>・細胞分子工学</li> <li>・分子創薬学</li> <li>・医薬品・医療機器評価科学</li> <li>・臨床腫瘍学</li> </ul>
02EX270	臨床外科学特論I	1	2.0	1・2	春ABC	応談	<p>西山 博之, 小田 竜也, 平松 祐司, 山崎 正志, 佐藤 幸夫, 市村 秀夫, 増本 幸二, 関堂 充, 原 尚人, 佐藤 豊実, 濱田 洋実, 小松 洋治, 松丸 祐司, 大鹿 哲郎, 田淵 経司, 武川 寛樹, 柳川 徹, 羽田 康司, 鈴木 保之</p>	<p>臨床外科学に関する諸分野において、学生は自らの最新の研究内容を発表し、研究結果と今後の研究方針に関する討論を行うとともに、それぞれの分野の重要な課題に関する議論を行う。授業は研究グループ単位で行い、学生は自らが研究指導を受ける研究グループに加えて、複数のグループの授業に出席することを推奨する。各研究グループのキーワードは以下の通りである。特論Iでは主として各領域の基礎的側面に焦点を当てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・腎泌尿器外科学</li> <li>・消化器外科学</li> <li>・心臓血管外科学</li> <li>・整形外科学</li> <li>・呼吸器外科学</li> <li>・小児外科学</li> <li>・形成外科学</li> <li>・乳腺内分泌外科学</li> <li>・婦人周産期医学</li> <li>・脳神経外科学</li> <li>・眼科学</li> <li>・耳鼻咽喉科頭頸部外科学顎口腔外科学</li> <li>・リハビリテーション医学</li> </ul>

02EX271	臨床外科学特論II	1	2.0	1・2	秋ABC	応談	<p>西山 博之, 小田 竜也, 平松 祐司, 山崎 正志, 佐藤 幸夫, 増本 幸二, 関堂 充, 原 尚人, 佐藤 豊実, 濱田 洋実, 小松 洋治, 松丸 祐司, 大鹿 哲郎, 田淵 経司, 武川 寛樹, 柳川 徹</p>	<p>泌尿生殖器学、消化器外科学、循環器外科学、呼吸器外科学、整形外科、小児外科学、形成外科学、内分泌外科学、産婦人科学、脳神経外科学、眼科学、耳鼻咽喉科学、口腔外科学など、臨床外科学に関する諸分野において、学生は自らの最新の研究内容を発表し、研究結果と今後の研究方針に関する討論を行うとともに、それぞれの分野の重要な課題に関する議論を行う。授業は研究グループ単位で行う。各研究グループのキーワードは以下の通りである。特論IIでは主として各領域の臨床応用に焦点を当てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小田竜也 癌の特性と治療、臓器再生研究と創傷治療</li> <li>・平松祐司 循環機能研究に必要な知識と技能を身に付け、臨床研究者として国際的に通用する能力を獲得する</li> <li>・山崎正志 運動器機能の重要性、および病態と治療を解説する。従来の外科的手法のみならず、分子生物学的手法や組織工学的手法を学ぶ</li> <li>・佐藤幸夫 市村秀夫 増加する肺癌の現況その低侵襲手術につき解説</li> <li>・増本幸二 先天性難治疾患の原因の解明と治療法について概説する</li> <li>・西山博之 泌尿生殖器に関する疾患と治療を概説する</li> <li>・関堂充 外傷・腫瘍・先天異常などによる変形・欠損に対する外観および機能再建</li> <li>・原尚人 エラストグラフィを用いて乳腺、内分泌腫瘍の組織弾性について学ぶ。</li> <li>・佐藤豊実 濱田洋実 女性生殖器を中心とした正常と異常を学び、研究・実験を行う</li> <li>・小松洋治 脳神経外科分野の新規診断・治療の研究開発</li> <li>・松丸祐司 脳卒中を理解し、その基礎および臨床研究を行う</li> <li>・大鹿哲郎 視機能と視覚の基礎を学び理解を深める</li> <li>・田淵経司 蝸牛機能に関する分子生物学的、電気生理学的手法を用いた研究について講義・演習・実験を行う</li> <li>・武川寛樹 口腔腫瘍の実験構築・データ解釈・討論</li> <li>・柳川徹 口腔疾患の分子生物学的解析・臨床統計学的解析を行う</li> </ul>	
02EX272	臨床外科学演習II	2	2.0	1・2	春ABC	応談	<p>西山 博之, 小田 竜也, 平松 祐司, 山崎 正志, 佐藤 幸夫, 市村 秀夫, 増本 幸二, 関堂 充, 原 尚人, 佐藤 豊実, 濱田 洋実, 小松 洋治, 松丸 祐司, 大鹿 哲郎, 田淵 経司, 武川 寛樹, 柳川 徹</p>	<p>臨床外科学に関する諸分野について関連する最新の原著論文を抄読し、研究目的、方法、結果、当該研究の意義、問題点、残された課題について討論する。演習IIでは主として各領域の臨床応用の側面に焦点を当てる。授業は研究グループ単位で行い、学生は自らが研究指導を受ける研究グループに加えて、複数のグループの授業に出席することを推奨する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・腎泌尿器外科学</li> <li>・消化器外科学</li> <li>・心臓血管外科学</li> <li>・整形外科</li> <li>・呼吸器外科学</li> <li>・小児外科学</li> <li>・形成外科学</li> <li>・乳腺内分泌外科学</li> <li>・婦人産科医学</li> <li>・脳神経外科学</li> <li>・眼科学</li> <li>・耳鼻咽喉科頭頸部外科学顎口腔外科学</li> <li>・リハビリテーション医学</li> </ul>	

02EX273	臨床外科学演習II	2	2.0	1・2	秋ABC	応談	<p>泌尿生殖器学、消化器外科学、循環器外科学、呼吸器外科学、整形外科学、小児外科学、形成外科学、内分泌外科学、産婦人科学、脳神経外科学、眼科学、耳鼻咽喉科学、口腔外科学など、臨床外科学に関する諸分野において、学生は自らの最新の研究内容を発表し、研究結果と今後の研究方針に関する討論を行うとともに、それぞれの分野の重要な課題に関する議論を行う。授業は研究グループ単位で行う。各研究グループのキーワードは以下の通りである。演習IIでは主として各領域の臨床応用の側面に焦点を当てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小田竜也 癌の特性と治療、臓器再生研究と創傷治癒</li> <li>・平松祐司 循環機能研究に必要な知識と技能を身に付け、臨床研究者として国際的に通用する能力を獲得する</li> <li>・山崎正志 運動器機能の重要性、および病態と治療を解説する。従来の外科的手法のみならず、分子生物学的手法や組織工学的手法を学ぶ</li> <li>・佐藤幸夫 市村秀夫 増加する肺癌の現況その低侵襲手術につき解説</li> <li>・増本幸二 先天性難治疾患の原因の解明と治療法について概説する</li> <li>・西山博之 泌尿生殖器に関する疾患と治療を概説する</li> <li>・関堂充 外傷・腫瘍・先天異常などによる変形・欠損に対する外観および機能再建</li> <li>・原尚人 エラストグラフィを用いて乳腺、内分泌腫瘍の組織弾性について学ぶ。</li> <li>・佐藤豊実 濱田洋実 女性生殖器を中心とした正常と異常を学び、研究・実験を行う</li> <li>・小松洋治 脳神経外科分野の新規診断・治療の研究開発</li> <li>・松丸祐司 脳卒中を理解し、その基礎および臨床研究を行う</li> <li>・大鹿哲郎 視機能と視覚の基礎を学び理解を深める</li> <li>・田淵経司 蝸牛機能に関する分子生物学、電気生理学的手法を用いた研究について講義・演習・実験を行う</li> <li>・武川寛樹 口腔腫瘍の実験構築・データ解釈・討論</li> <li>・柳川徹 口腔疾患の分子生物学的解析・臨床統計学的解析を行う</li> </ul>
02EX274	臨床外科学実験実習I	3	2.0	1・2	春ABC	応談	<p>臨床外科学に関する諸分野について関連する実験の方法と原理について実践的に学ぶ。各研究グループのキーワードは以下の通りである。I、IIでは異なる手法を習得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・腎泌尿器外科学</li> <li>・消化器外科学</li> <li>・心臓血管外科学</li> <li>・整形外科学</li> <li>・呼吸器外科学</li> <li>・小児外科学</li> <li>・形成外科学</li> <li>・乳腺内分泌外科学</li> <li>・婦人周産期医学</li> <li>・脳神経外科学</li> <li>・眼科学</li> <li>・耳鼻咽喉科頭頸部外科学顎口腔外科学</li> <li>・リハビリテーション医学</li> </ul>
02EX275	臨床外科学実験実習II	3	2.0	1・2	秋ABC	応談	<p>臨床外科学に関する諸分野について関連する実験の方法と原理について実践的に学ぶ。各研究グループのキーワードは以下の通りである。I、IIでは異なる手法を習得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・腎泌尿器外科学</li> <li>・消化器外科学</li> <li>・心臓血管外科学</li> <li>・整形外科学</li> <li>・呼吸器外科学</li> <li>・小児外科学</li> <li>・形成外科学</li> <li>・乳腺内分泌外科学</li> <li>・婦人周産期医学</li> <li>・脳神経外科学</li> <li>・眼科学</li> <li>・耳鼻咽喉科頭頸部外科学顎口腔外科学</li> <li>・リハビリテーション医学</li> </ul>

02EX280	臨床内科学特論I	1	2.0	1・2	春ABC	応談	<p>千葉 滋, 坂田(柳元) 麻実子, 土屋輝一郎, 家田 真樹, 正田 純一, 大原 信, 青沼 和隆, 小池 朗, 野上 昭彦, 本間 覚, 宮内 卓, 檜澤 伸之, 石井 幸雄, 佐藤 浩昭, 玉岡 晃, 山縣 邦弘, 島野 仁, 野牛 宏晃, 松坂 賢, 川上 康, 高田 英俊, 堀米 仁志, 関根 郁夫, 人見 重美, 金子 新, 乃村 俊史, 鈴木 広道</p>	<p>臨床内科学について、学生は自らの最新の研究成果を発表し、研究結果と今後の研究方針に関する討論を行うとともに、内科学分野の重要な課題に関する議論を行う。授業は研究グループ単位で行い、学生は自らが研究指導を受ける研究グループに加えて、複数のグループの授業に出席することを推奨する。各グループのキーワードを以下に列挙する。I, IIでは異なるトピックスを扱う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・血液内科学</li> <li>・消化器内科学</li> <li>・循環器内科学</li> <li>・呼吸器内科学</li> <li>・神経内科学</li> <li>・腎臓内科学</li> <li>・膠原病内科学</li> <li>・代謝・内分泌内科学</li> <li>・臨床検査学</li> <li>・皮膚科</li> <li>・小児科学</li> <li>・感染症内科学</li> <li>・臨床腫瘍学</li> <li>・医療情報マネジメント学</li> <li>・スポーツ医学</li> <li>・がん免疫治療学</li> </ul>
02EX281	臨床内科学特論II	1	2.0	1・2	秋ABC	応談	<p>千葉 滋, 坂田(柳元) 麻実子, 土屋輝一郎, 家田 真樹, 正田 純一, 大原 信, 青沼 和隆, 小池 朗, 野上 昭彦, 本間 覚, 宮内 卓, 檜澤 伸之, 石井 幸雄, 佐藤 浩昭, 玉岡 晃, 山縣 邦弘, 島野 仁, 野牛 宏晃, 松坂 賢, 川上 康, 高田 英俊, 堀米 仁志, 人見 重美, 関根 郁夫, 金子 新, 乃村 俊史, 鈴木 広道</p>	<p>臨床内科学について、学生は自らの最新の研究成果を発表し、研究結果と今後の研究方針に関する討論を行うとともに、内科学分野の重要な課題に関する議論を行う。授業は研究グループ単位で行い、学生は自らが研究指導を受ける研究グループに加えて、複数のグループの授業に出席することを推奨する。各グループのキーワードを以下に列挙する。I, IIでは異なるトピックスを扱う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・血液内科学</li> <li>・消化器内科学</li> <li>・循環器内科学</li> <li>・呼吸器内科学</li> <li>・神経内科学</li> <li>・腎臓内科学</li> <li>・膠原病内科学</li> <li>・代謝・内分泌内科学</li> <li>・臨床検査学</li> <li>・皮膚科</li> <li>・小児科学</li> <li>・感染症内科学</li> <li>・臨床腫瘍学</li> <li>・医療情報マネジメント学</li> <li>・スポーツ医学</li> <li>・がん免疫治療学</li> </ul>
02EX282	臨床内科学演習I	2	2.0	1・2	春ABC	応談	<p>千葉 滋, 坂田(柳元) 麻実子, 土屋輝一郎, 家田 真樹, 正田 純一, 大原 信, 青沼 和隆, 小池 朗, 野上 昭彦, 本間 覚, 宮内 卓, 檜澤 伸之, 石井 幸雄, 佐藤 浩昭, 玉岡 晃, 山縣 邦弘, 島野 仁, 野牛 宏晃, 松坂 賢, 川上 康, 高田 英俊, 堀米 仁志, 人見 重美, 関根 郁夫</p>	<p>臨床内科学に関連する最新の原著論文を抄読し、研究目的、方法、結果について理解し、当該研究の意義、問題点、残された課題について討論する。授業は研究グループ単位で行い、学生は自らが研究指導を受ける研究グループに加えて、複数のグループの授業に出席することを推奨する。各グループのキーワードを以下に列挙する。I, IIでは異なるトピックスを扱う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・血液内科学</li> <li>・消化器内科学</li> <li>・循環器内科学</li> <li>・呼吸器内科学</li> <li>・神経内科学</li> <li>・腎臓内科学</li> <li>・膠原病内科学</li> <li>・代謝・内分泌内科学</li> <li>・臨床検査学</li> <li>・皮膚科</li> <li>・小児科学</li> <li>・感染症内科学</li> <li>・臨床腫瘍学</li> <li>・医療情報マネジメント学</li> <li>・スポーツ医学</li> <li>・がん免疫治療学</li> </ul>

02EX283	臨床内科学演習II	2	2.0	1・2	秋ABC	応談	<p>千葉 滋, 坂田(柳元) 麻実子, 土屋輝一郎, 家田 真樹, 正田 純一, 大原 信, 青沼 和隆, 小池 朗, 野上 昭彦, 本間 覚, 宮内 卓, 檜澤 伸之, 石井 幸雄, 佐藤 浩昭, 玉岡 晃, 山縣 邦弘, 島野 仁, 野牛 宏晃, 松坂 賢, 川上 康, 高田 英俊, 堀米 仁志, 人見 重美, 関根 郁夫</p>	<p>臨床内科学に関連する最新の原著論文を抄読し、研究目的、方法、結果について理解し、当該研究の意義、問題点、残された課題について討論する。授業は研究グループ単位で行い、学生は自らが研究指導を受ける研究グループに加えて、複数のグループの授業に出席することを推奨する。各グループのキーワードを以下に列挙する。I, IIでは異なるトピックスを扱う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・血液内科学</li> <li>・消化器内科学</li> <li>・循環器内科学</li> <li>・呼吸器内科学</li> <li>・神経内科学</li> <li>・腎臓内科学</li> <li>・膠原病内科学</li> <li>・代謝・内分泌内科学</li> <li>・臨床検査学</li> <li>・皮膚科</li> <li>・小児科学</li> <li>・感染症内科学</li> <li>・臨床腫瘍学</li> <li>・医療情報マネジメント学</li> <li>・スポーツ医学</li> <li>・がん免疫治療学</li> </ul>
02EX284	臨床内科学実験実習I	3	2.0	1・2	春ABC	応談	<p>千葉 滋, 坂田(柳元) 麻実子, 土屋輝一郎, 家田 真樹, 正田 純一, 大原 信, 青沼 和隆, 小池 朗, 野上 昭彦, 本間 覚, 宮内 卓, 檜澤 伸之, 石井 幸雄, 佐藤 浩昭, 玉岡 晃, 山縣 邦弘, 島野 仁, 野牛 宏晃, 松坂 賢, 川上 康, 高田 英俊, 堀米 仁志, 人見 重美, 関根 郁夫</p>	<p>臨床内科学に関する実験やデータ解析の原理と方法について実践によって学ぶ。各グループのキーワードを以下に列挙する。I, IIでは異なる手法を習得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・血液内科学</li> <li>・消化器内科学</li> <li>・循環器内科学</li> <li>・呼吸器内科学</li> <li>・神経内科学</li> <li>・腎臓内科学</li> <li>・膠原病内科学</li> <li>・代謝・内分泌内科学</li> <li>・臨床検査学</li> <li>・皮膚科</li> <li>・小児科学</li> <li>・感染症内科学</li> <li>・臨床腫瘍学</li> <li>・医療情報マネジメント学</li> <li>・スポーツ医学</li> <li>・がん免疫治療学</li> </ul>
02EX285	臨床内科学実験実習II	3	2.0	1・2	秋ABC	応談	<p>千葉 滋, 坂田(柳元) 麻実子, 土屋輝一郎, 家田 真樹, 正田 純一, 大原 信, 青沼 和隆, 小池 朗, 野上 昭彦, 本間 覚, 宮内 卓, 檜澤 伸之, 石井 幸雄, 佐藤 浩昭, 玉岡 晃, 山縣 邦弘, 島野 仁, 野牛 宏晃, 松坂 賢, 川上 康, 高田 英俊, 堀米 仁志, 人見 重美, 関根 郁夫</p>	<p>臨床内科学に関する実験やデータ解析の原理と方法について実践によって学ぶ。各グループのキーワードを以下に列挙する。I, IIでは異なる手法を習得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・血液内科学</li> <li>・消化器内科学</li> <li>・循環器内科学</li> <li>・呼吸器内科学</li> <li>・神経内科学</li> <li>・腎臓内科学</li> <li>・膠原病内科学</li> <li>・代謝・内分泌内科学</li> <li>・臨床検査学</li> <li>・皮膚科</li> <li>・小児科学</li> <li>・感染症内科学</li> <li>・臨床腫瘍学</li> <li>・医療情報マネジメント学</li> <li>・スポーツ医学</li> <li>・がん免疫治療学</li> </ul>
02EX293	社会医学特論I	1	2.0	1・2	春ABC	応談	<p>山岸 良匡, 斎藤 環, 田宮 菜奈子, 近藤 正英</p>	<p>社会医学研究における基本概念、知識および技術を修得し、その成果を相互発表・質疑応答に対応することにより、修得の程度を確認する。授業は研究グループ単位で行い、学生は自らが研究指導を受ける研究グループに加えて、複数のグループの授業に出席することを推奨する。I, IIでは異なるトピックスを扱う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会健康医学</li> <li>・社会精神保健学</li> <li>・ヘルスサービスリサーチ</li> <li>・保健医療政策学・医療経済学</li> </ul>



02EX294	社会医学特論II	1	2.0	1・2	秋ABC	応談	山岸 良匡, 斎藤環, 田宮 菜奈子, 近藤 正英	<p>社会医学研究における基本概念、知識および技術を修得し、その成果を相互発表・質疑応答に対応することにより、修得の程度を確認する。授業は研究グループ単位で行い、学生は自らが研究指導を受ける研究グループに加えて、複数のグループの授業に出席することを推奨する。I, IIでは異なるトピックスを扱う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会健康医学</li> <li>・社会精神保健学</li> <li>・ヘルスサービスリサーチ</li> <li>・保健医療政策学・医療経済学</li> </ul>	
02EX295	社会医学演習I	2	2.0	1・2	春ABC	応談	山岸 良匡, 斎藤環, 田宮 菜奈子, 近藤 正英	<p>社会医学研究の文献抄読および討論を通じ、社会医学の現状と課題に研究者としてどう取り組むかを学び、修得する。授業は研究グループ単位で行い、学生は自らが研究指導を受ける研究グループに加えて、複数のグループの授業に出席することを推奨する。I, IIでは異なるトピックスを扱う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会健康医学</li> <li>・社会精神保健学</li> <li>・ヘルスサービスリサーチ</li> <li>・保健医療政策学・医療経済学</li> </ul>	
02EX296	社会医学演習II	2	2.0	1・2	秋ABC	応談	山岸 良匡, 斎藤環, 田宮 菜奈子, 近藤 正英	<p>社会医学研究の文献抄読および討論を通じ、社会医学の現状と課題に研究者としてどう取り組むかを学び、修得する。授業は研究グループ単位で行い、学生は自らが研究指導を受ける研究グループに加えて、複数のグループの授業に出席することを推奨する。I, IIでは異なるトピックスを扱う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会健康医学</li> <li>・社会精神保健学</li> <li>・ヘルスサービスリサーチ</li> <li>・保健医療政策学・医療経済学</li> </ul>	
02EX297	社会医学実験実習I	3	2.0	1・2	春ABC	応談	山岸 良匡, 斎藤環, 田宮 菜奈子, 近藤 正英	<p>自らの社会医学的研究課題を明確にし、方法論を吟味し、質の高い社会医学的意義のある研究を遂行するための能力を身につける。I, IIでは異なる手法を習得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会健康医学</li> <li>・社会精神保健学</li> <li>・ヘルスサービスリサーチ</li> <li>・保健医療政策学・医療経済学</li> </ul>	
02EX298	社会医学実験実習II	3	2.0	1・2	秋ABC	応談	山岸 良匡, 斎藤環, 田宮 菜奈子, 近藤 正英	<p>自らの社会医学的研究課題を明確にし、方法論を吟味し、質の高い社会医学的意義のある研究を遂行するための能力を身につける。I, IIでは異なる手法を習得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会健康医学</li> <li>・社会精神保健学</li> <li>・ヘルスサービスリサーチ</li> <li>・保健医療政策学・医療経済学</li> </ul>	
02EX230	臨床試験論	1	2.0	1・2	秋AB	火7,8	我妻 ゆき子, 五所正彦	<p>臨床試験は病気に対する新しい治療法や薬の安全性・有効性を検証するために行われる、ヒトを対象とした医学研究である。臨床試験は厳密な科学性と倫理性を兼ね備える必要があるため、GCP (Good Clinical Practice) と呼ばれる基準に則って実施される。本講義ではGCPに沿って臨床試験のデザインから実行までを概観する。</p> <p>目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. GCPに準拠した臨床試験の実施ステップについて説明できる。</li> <li>2. 臨床試験に関する倫理指針を理解し、適切な研究デザインを企画し、実施するための研究プロトコルを作成できる。</li> <li>3. 臨床試験の実際に関する内容を理解し、その意義と欠点を理解し、その向上のためになる質問や討論をすることができる。</li> </ol>	英語で授業。 オンライン(同時双方向型)

02EX231	医生物統計学概論	1	1.0	1・2	春AB	水3		五所 正彦,丸尾和司,石井 亮太	<p>目標:医学研究で用いられる統計手法の理解及びその結果の正しい解釈ができ、自らの医学研究に活用できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医学研究のタイプを指摘できる。</li> <li>2. 統計手法の基礎および手法の原理を説明できる。</li> <li>3. 確率と確率分布の意味を説明できる。</li> <li>4. 研究目的が定まったとき、相応しい評価項目のデータの形、および相応しい解析手法を選択できる。</li> <li>5. 解析結果等解釈が困難な結果に対し、解決への考察ができる。</li> </ol> <p>(1) 医学研究の紹介、医学研究の分類について概説する。  (2) データの記述について概説する。  (3) 確率と確率分布について概説する。  (4) 推定と仮説検定について概説する。  (5) 群間比較について概説する。  (6) 相関分析と線形回帰分析について概説する。  (7) カテゴリカルデータ解析について概説する。  (8) ロジスティック回帰分析について概説する。  (9)-(10) 生存時間解析について概説する。</p>	4F204, online etc.
02EX292	医生物統計学特論	1	2.0	1・2	秋AB	水4.5		五所 正彦,丸尾和司,石井 亮太	<p>目標:生物統計に関する専門書 Applied Survival Analysis の抄読会を通し、統計手法の理解及びその結果の正しい解釈ができ、自らの医学研究に活用できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生存時間解析の原理や結果を理解できる。</li> <li>2. 生存時間データの解析に対して適切な統計手法を選択することができる。</li> <li>3. 生存時間解析における結果の解釈を正しく説明できる。</li> </ol>	4F204, online etc.
02EX232	医生物統計学実習	3	1.0	1・2	春AB	水5-8		丸尾 和司,五所正彦,石井 亮太	<p>目標:統計解析ソフトウェアSAS OnDemand for Academicsを使用した医学データ解析の考え方や解析手法を習得する。SAS OnDemand For Academicsを使用して基本的なデータ操作、統計解析を行い、結果の解釈を行うことができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 操作方法、基礎文法について学ぶ。</li> <li>(2) データセットの作成と管理について学ぶ。</li> <li>(3) 記述統計とデータの可視化1について学ぶ。</li> <li>(4) 記述統計とデータの可視化2について学ぶ。</li> <li>(5) 仮説検定と群間比較について学ぶ。</li> <li>(6) 線形回帰分析について学ぶ。</li> <li>(7) カテゴリカルデータについて学ぶ。</li> <li>(8) ロジスティック回帰分析について学ぶ。</li> <li>(9) 生存時間解析について学ぶ。</li> <li>(10) 付加的话题とまとめ。</li> </ol>	4F204, online etc.
02EX290	疫学特論	1	2.0	1・2	秋AB	火3,4	4F305	我妻 ゆき子	<p>疫学の原理と応用について学ぶ。情報科学や統計科学を用いて行われる疫学研究や臨床研究への応用についても学び、EBM (Evidence-Based Medicine)の研究に役立たせる。また、疫学的手法を用いた演習を実施し、疫学の実際を理解する。</p> <p>目標:疫学研究の目的、方法、解析結果とその意義について説明できる。</p>	英語で授業。